

## Pacifichem 2020 シンポジウムのお知らせ #389

今年は5年に一度の環太平洋国際化学会議(Pacifichem 2020)がHawaiiで開催されます。  
(<http://www.chemistry.or.jp/event/pacifichem/index.html>)

これまで、Pacifichem では放射光をはじめとする加速器で発生する量子ビームの化学への新しい応用を議論して参りました。今回は 石油枯渇、CO<sub>2</sub> による地球規模の温暖化などのエネルギーや環境に関連する問題を踏まえて、これらを解決するための量子ビーム(放射光、XFEL, 中性子、ミュオン)によるアプローチというテーマを中心に議論をしたいと考え、下記のシンポジウムを企画いたしました。どうか多数の応募をお待ちしております。

### 《Symposium 389》

シンポジウムタイトル: #389 "Solutions to the Energy- and Environmental-Related Problems by Cutting-Edge Accelerator-Based Techniques "

期間: 2020年12月19日(土)~20日(日)

場所: Hawaii Convention Center

オーガナイザー: T. K. Sham (Canada), Lin Chen (USA), Hiroshi Kondoh and Kiyotaka Asakura (Japan)

(<http://www.cat.hokudai.ac.jp/asakura/files/Pacifichemflyer.pdf>)

現在 アブストラクトを募集しております。エネルギー・環境問題に限らず新しい量子ビーム(放射光、XFEL, 中性子、ミュオン)技術やその応用についてでも結構ですので、関連する研究分野の皆様にご応募をいただければと思います。また、ポスター発表セッションもご用意しております。

<https://pacifichem.org/technical-program/abstract-submission/>

(#389 ですので、お間違いなく。)

3月31日が応募締め切りです。ご応募をお待ちしております。

-連絡先 朝倉清高 北海道大学触媒科学研究所 { [askr@cat.hokudai.ac.jp](mailto:askr@cat.hokudai.ac.jp) }